



発行番号 2026-No. 1  
 発行 令和8年4月15日  
 発行責任者 須藤 英樹  
 編集責任者 小林 亮太

# 2026年度新生技師会が始まります!

令和8年3月7日(土)、とかちプラザ401号室にて2026年度十勝臨床衛生検査技師会定期総会が開催されました。帯広協会病院の鷺見亮太技師が議長に選出され、会員61名の出席と委任状68名分により無事総会が成立。2025年度の活動報告、会計監査報告並びに2026年度の活動計画が審議されました。また、今年度は理事役員改選の年であり、新しい会長にはこれまで事務局長としてもご活躍頂いた帯広協会病院の須藤英樹副会長が就任、理事メンバーも約半数以上が刷新され、新生理事会として生まれ変わりました。この新体制で2026年度の技師会活動をスタートしていきますので、今後とも会員皆様のご協力をいただきます様よろしくお願いたします。

## 2026年度 新役員体制

会長	須藤 英樹	(帯広協会病院) 北臨技地区理事
副会長	守谷 恵美	(北斗病院) 総務
	加藤 隆	(帯広厚生病院) 学術
	小林 亮太	(帯広協会病院) 事務局
会計	網島 真奈佳	(帯広協会病院)
	狩野 涼香	(北斗病院)
理事	田中 絹代	(北斗病院)
	藤原 悠作	(帯広協会病院)
	湯浅 良太	(公立芽室病院)
	酒井 彩花	(帯広厚生病院)
	高橋 祐貴	(帯広厚生病院)
	干場 智生	(帯広厚生病院)
	畑 菜由	(帯広厚生病院)
	廣瀬 梨江	(帯広第一病院)
	小椋 倫子	(BML帯広第一病院)
	羽田 光太	(十勝いけだ地域医療センター)
	佐藤 あすみ	(本別町国保病院)
	伊木 美那子	(慶愛病院)
	鷺見 ともえ	(協立病院)
	稲延 真夕	(国立帯広病院)
監事	佐藤 克巳	(足寄町国保病院)
	加賀 輝美	(帯広協会病院)



## 佐藤元会長 お疲れ様でした

2022年度より2期4年間、十勝臨床衛生検査技師会の会長としてご活躍頂きました。この間、第95回北海道医学検査学会(帯広学会)やタスクシフト/シェア講習会の十勝開催など、多くの事業開催に向けご尽力を頂きました。4年間、本当にお疲れ様でした。



総会後には特別講演として、講師に積水メディカル株式会社の人見博也先生をお迎えし、「小規模施設におけるISO15189:2022対応について」と題しご講演を頂きました。人見先生はISO15189の認定審査員、国際標準化機構ISO/TC212の国内検討委員等々、とても権威のある方で非常に多岐にわたりご活躍をされております。現在「ISO」と言えば多くは大規模施設でしか関わりのない事だろうと思われがちですが、今後は小規模施設にとっても必要になってくるであろうとのことで、これを機会に多くの方々に広く内容を知って頂こうという思いで企画開催いたしました。面倒な事も多々ありますが、臨床検査の品質保証の為に欠かせない内容ばかりであり、今回人見先生にご講演頂いた内容が、今後多くの施設での一助になって頂ければと思います。



## 退任挨拶に代えて・・・

臨床検査技師として一社会人として40年近い時間を過ごしてきましたが、その間に諸先輩から頂いた記憶に残る言葉を記したいと思います。

「あんた、傲慢だね」

皆さん会員発表や人前での挨拶、苦手意識を持っていませんか？

人前だと緊張して上手く話せない。

そんな話を当時の上司と雑談していた時発せられた言葉。

「あんた 傲慢だね」当時の私の頭の中はまさに「???」でした。

人前で話しをするのに緊張するのが「傲慢???」

その後続いた言葉

「自分の親兄弟、友達と話をするのに緊張するか？ しないだろう？

ではなぜ人前では緊張すると思う？

それは自分を良く見せよう、大きく見せようとしているからじゃないかな？

それを傲慢と呼ばず何と呼ぶ？

等身大の自分の言葉で話せば緊張などしないと思う。

良い話がしたければ自分自身を高めればよいだけだと思う」

会長として、人前で話す機会も増えましたが、堅苦しい台詞はほとんど使わなかったと思います。正しくは使えなかったというのが本音です。なぜならそんな器ではないと自覚しているから。



「文章はラブレター」

皆さん、文章を書くのは得意ですか？

私は小中高と国語で良い成績を収めた記憶が全くありません。

特に読書感想文なんて、大嫌いでした。

そんな20代の私の書く文章。典型的な堅苦しい文章でした。今読み返すと赤面してしまいます。

そんな若き頃の私の文章を読んだ当時の上司の言葉。

「あんたラブレターって書いたことある？この文章からは読む人の顔が見えないんだよね。ラブレター書く時って、相手の顔や姿、仕草を思いだして、どんな事を考えているかを想像して書かないかい？文章も同じだよ。文章には必ず読み手が居る。読み聞かせたい相手が居るはずだよ。この文章からは、誰に向かって書いているのか全然読み手のイメージ浮かばないんだわ」

それからです。私の文章が変わったのは、皆さんの文章は読み手のイメージ出来ていますか？

「1+1=いくつ？」

算数の話ではありません。仕事の話です。

「仕事と作業」の違いって分かるかい？

仕事において、1+1を2にしか出来ないような人は要らない。1+1を2にも3にもするような人が必要なんだ。

1つのアクションで複数の成果が出るような仕事を目指しなさい。

耳にタコが出来くらい、何度も聞かされた言葉です。

皆さんの「1+1」はいくつですか？

人生の選択肢

社会人として数年経過すると、誰しも「人生の選択肢」と呼べる時期がやってくると思います。

そんな時、皆さんは何を基準に考え行動しますか？

若かりし頃の私はそんな時、メリット・デメリットを考え、どちらを選ぶのが得か所謂損得勘定で考えていました。

それが50歳を過ぎた頃からでしょうか。考え方に変化が起きました。

10年後20年後の自分が今の自分を見たとき、どちらの選択が後悔しないか？

そんな考えに変わりました。

皆さんも、何かそんな基準を持つと悩みも少しは減るかもしれませんね。

多くの先輩諸兄から指導を頂戴し、ここまで過ごせた事を感謝いたします。

特に43歳という若さで急逝された古屋技師長の背中を追い続け、いつか追いつきたいとの思いで自分なりに頑張ってきたつもりですが、年齢だけが大きく追い越した感が否めないと感じる今日この頃です。

そんな戯言にて退任挨拶に代えさせていただきます。

## 総会・懇親会のようす



### 新会長就任のご挨拶

十勝臨床衛生検査技師会会長 須藤 英樹



今年度(2026年度)より十勝臨床衛生検査技師会会長の重責を仰せつかりました帯広協会病院の須藤英樹です。十勝技師会の理事となってから早●●年??これまでは歴代会長の下、陰の部隊として活動させて頂いておりましたが、ついにオモテ舞台に顔を出さなければならなくなりました。時の流れを痛感いたします。今後は皆さんの力と知恵をお借りし、さらに充実した技師会活動を目指して行きたいと考えております。昨今、医療機関を取り巻く状況はどこも非常に厳しく、なかなか善い話は聞こえてこないのが現状です。そんな時にこそ周りの同業者、仲間達の声が聞ける環境があるというのはとても力強いことだと思いませんか?そしてその環境というのが技師会ではないかと思っております。かく言う私も、新人の頃(いや、今でも?)から他施設の諸先輩方に大変可愛いがって頂きました。そのお陰で今があると思っています。何分力不足とは思いますが、まずはより一層広い範囲の方々に気軽に技師会活動に参加して頂けること、そして若い世代の方々にこの伝統ある技師会の活動を受け継いで頂くよう展開を進めていきたいと考えておりますので、皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶に代えさせていただきます。

あ、堅苦しい挨拶になってしまいました…。今後は柔らかくいきますので……!(^\_^)/

### 十勝臨床検査技師会「ChatWork」へのお誘い

十勝臨床検査技師会では「チャットワーク」というアプリケーションを活用し、技師会の情報を配信しています。PCでもスマホでも簡単に利用することができ、技師会グループでは研修会等の情報発信の他、会員同士の意見交換等にも利用できますので、皆さんの登録を是非お待ちしております。技師会チャットワークへ登録希望の方は事務局宛または既存メンバーよりお気軽にご連絡ください。